



市政の窓

西之表

第369号／平成5年12月1日発行■発行／鹿児島県西之表市役所■編集／総務課秘書広報係 ☎09972②-1111 FAX②-0295



西之表新港で市内園児・児童ら多数の島民の歓迎をうけるポルトガル大統領ご夫妻

ポルトガル共和国
大統領ご夫妻を歓迎
ロサ・モタ選手も来島

日本・ポルトガル友好450周年を記念して、ポルトガル共和国大統領が10月27日、サグレス号に乗り、種子島を初訪問されました。ご来島一行61名には、大統領令夫人をはじめ、ソウル五輪女子マラソン優勝のロサ・モタさんの姿も。歓迎式典で大統領閣下は島民の暖かい友情に謝意を表明されるとともに、相互の訪問交流で今後も更に友好を深めたいと述べられました。

(特集・2～7ページ)

聞こえますか 450年前の銃声か



'93鉄砲伝来450周年 一種子島一

12月の行事予定

- 1日(水) 種子島漁業協同組合発足式
- 5日(日) 種子島地区スポーツ少年団交歓交流大会 (中種子町)
- 11日(土) 鹿児島港本港北ふ頭竣工式 (鹿児島港)
- 15日(水) 赤ちゃんコンクール表彰式
(午前10時～市老人福祉センター)
- 19日(日) 西之表ふれあいジョギング大会
- 28日(火) 仕事納め

1993年 12月号

「サグレス号で種子島を訪問できて幸せです」

鉄砲伝来450周年
フィナーレは

ポルトガル大統領ご来島!!



鉄砲伝来四百五十周年記念行事の最後を飾るビッグ・イベント、ポルトガル共和国大統領マリオ・アルベルト・ノブレ・ソアレス閣下の種子島ご訪問が十月二十七日実現しました。

十月十八日、国賓として来日された大統領閣下ですが、二十二日に一連の公式行事を終えられた後、長崎や種子島を訪問されたもので、一国の大統領が種子島を訪れたのはこれが初めて。

十月二十五日、大統領閣下を乗せ長崎を出港したポルトガル海軍練習船サグレス号（帆船、一七二五トン）は二十七日未明に種子島沖に到着。午前八時、漁船パレードの歓迎を受けながら西之表港

に入港しました。

大統領閣下歓迎式は午前十時から新港待合所近くの特設会場で行われ、トッピー桟橋に特別船で上陸された大統領ご一行（十五名）を市内の園児、児童らが手旗でお迎えしました。

歓迎式には、一日早く空路で種子島入りをされていた大統領令夫人ご一行四十六名も参列。畑山美加さん（フレッシュ種子島）と吉永聖啓ちゃん（明朗幼稚園児）から大統領ご夫妻に花束が贈られ、種子島火縄銃保存会による祝砲（二十一発）の後、土屋佳照鹿児島県知事が「今回の種子島ご訪問は大統領閣下の強いご希望で実現されたことをお伺いし、島民はもとより、県



▲歓迎式典で種子島訪問の喜びを語るポルトガル大統領（西之表新港）

▼日本・ポルトガル両国旗の手旗がひるがえる中、歓迎に応える大統領ご夫妻



民一同、光榮に思っています。大統領閣下のサグレス号でのご訪問は、貴国の大航海時代のロマンと躍動の歴史を思い起こすもの。西洋交流のさきがけの地、鹿児島は今、世界に開かれた魅力ある南の

拠点づくりを目指しています。鉄砲伝来から四百五十年の時を経て、日本とポルトガル、そして鹿児島とポルトガルの新しい交流の船出となることを期待するものです」と歓迎。



ポルトガル大統領が乗船し、種子島に寄港したサグレス号（27日）



26日、空路で種子島入りされた大統領令夫人を歓迎する榎本市長



平和の園保育園を訪問され、園児を抱き上げる大統領令夫人



種子島カトリック教会を訪問され、信者らと交流する大統領令夫人



平和の園保育園へ書籍を寄贈された大統領令夫人

つづいて舞台上に立たれた大統領閣下は「ポルトガルの船乗りたちがたどり着き、出会った東洋と西洋の交流の歴史が四百五十年後の今でも生き生きと息づくこの地にサグレス号に乗船して訪問できたことを幸せに思います」と感慨深げに話された後、「十日間にわたる訪日の過程で、両国の政府および民間レベルでの友好、協力関係を確信いたしました。今後も、お互いの訪問交流で新しい歴史を作っていきたい」と友好交流促進を強調されました。

式典では、このあと、下西小学校トランペット鼓隊によるドリル・マーチングのほか、安納青壮年棒踊り保存会による「示現流くずし棒踊り」の披露も行われ、地元の子どもや青年らのはつらつとした演技に大統領閣下をはじめ、集まった多くの観衆から暖かい拍手が送られていました。

式典を終えられた大統領閣下一行は会場近くの日泊親交公園を訪れ、「海の男の像」に献花。つづいて種子島開発総合センター視察、共同記者会見（詳しくは本号六、七頁、

◇ 記念植樹（わかき公園）を精力的に行われ、午後三時過ぎの特別機で種子島を立たれ、大阪経由で帰国の途につかれました。

鉄砲伝来四百五十年を記念する行事は、平成三年に企画して以来二年余りにもわたる超大型イベントでしたが、今回の「大統領の種子島ご訪問」をもって、全ての行事を盛大に、そして無事に完了することになりました。

国、県、種子島三市町が一体となり、島民総参加で成し得た記念行事ですが、「四百五十年周年記念行事は歴史的な出来事をお祝いするだけに終わることなく、未来に続くものとして、お互いの訪問交流で新しい歴史を作りましょう」と話された大統領の言葉に一連の行事の意義が集約されていたように思われます。

鉄砲伝来の島「種子島」が来たるべき二十一世紀に向かって大きくはばいた今回、各種の記念行事に協力、支援、参加いただきました皆さん、誠に有難うございました。ご苦勞様でした。



大統領歓迎式典主催者を
代表して挨拶する土屋県
知事

郷土芸能「示現流くずし棒踊り」を披露した安納青壮年棒踊り保存会の
皆さんと大統領ご夫妻、県知事ら



サグレス号を背に力奏する
種子島鉄砲太鼓保存会の皆さん



式典音楽を担当した榕城中吹奏楽部の皆さん



マーチングで式典を盛り上げた
下西小トランペット鼓隊の皆さん

ソウル・オリンピックの女子マラソン覇者、ロサ・モタさんと種子島火
縄銃保存会の皆さん



市長
随想

(第43回)

鉄砲は博物館に

十月二十日、細川総理主催
の午餐会にマリオ、ポルトガ
ル大統領ほか日本ポルトガル
友好四百五十周年記念実行委
員の皆様とともに総理官邸に
ご招待をいただき総理と親し
く懇談。まず、総理官邸の質
素さには驚いた。これが経済
大国の総理官邸かと。然し、
これだからいいのではないか、
日本の政治家の姿勢が官邸の
如くあつて欲しいものだと思
う。

労働ですね」とのお言葉、感
激の極みでした。

これも私達先人のご遺徳の
お蔭様、島民皆様のご尽力の
賜物と有難く心から感謝申し
上げるのみであります。

十月二十七日、ポルトガル
大統領ご夫妻一行が種子島
を訪問され、「四百五十年
前、三名のポルトガル人が種
子島の人々に大変お世話にな
りました。そのお礼が言いた
かった」と、そして又「鉄砲
は博物館に飾る物ですね」と
私にささやかれました。私は
胸を打たれました。四百五十
年前の恩を忘れてはならな
い、一言お礼をとの奥ゆかし
いお心。鉄砲は使つてはなら
ない、すべて博物館に納めて
しまふような平和な世界が欲
しいとの大統領の切なる願
いが込められたお言葉である。
国境を越えた人々の愛心と
心の交流こそが平和な世界を
築く。言葉は違つていても。

晩餐会はポルトガル大統領
主催でホテル大蔵で立食パー
ティで行われた。前市長井元
先生ご夫妻ともども出席。三
百名程の出席者の中に皇室御
一家もご出席なされ、私に
とっては青天の霹靂。こうい
う機会は二度とないと勇気を
振るい秋篠宮殿下、紀子妃殿
下、皇太子殿下に握手、名刺
をお渡しし御挨拶の光栄に浴
す。最後に意を決し天皇陛下
に御挨拶。握手を賜り「種子
島から遠い所をわざわざご苦



マリオ・アルベルト・ノブレ・ソアレス大統領
(68歳)

(H.E. Dr. Mario Alberto Nobre Soares,
President of Portuguese Republic)

- 学 歴 リスボン大学文学部歴史哲学
科および法学部卒業
- 経 歴 1973年 ポルトガル社会党設
立、書記長に就任
1976~78年 立憲政府首相
1983~85年 //
- 1986年 大統領就任
1991年 // 再任
- 訪日歴 1984年 公賓
1989年 大喪の礼
1990年 即位の礼
- 趣 味 読書、園芸

ポルトガル大統領 共同記者会見

「45年前の出会いと友情を忘れません」

※ポルトガル大統領マリオ・ソアレス閣下は、十月二十七日に種子島を訪問されたポルトガル共和国大統領マリオ・ソアレス閣下は同日午後、市内のホテルで、島内外の報道陣の前に、約三十分間にわたる会見をされました。

十月二十七日に種子島を訪問されたポルトガル共和国大統領マリオ・ソアレス閣下は同日午後、市内のホテルで、島内外の報道陣の前に、約三十分間にわたる会見をされました。

会見に先立ち席上、大統領閣下は「今回、種子島を訪問でき、幸せでいっぱいです。両国民の友好関係において、この訪問を大事に思っていました」と前置きされた後、記者の皆さんからの質問に一つ一つていねいに次のように答えられました。



種子島の印象
はいかがです
か？

これまで、種子島については写真などを通してしか知りませんでした。昨夜、サグレス号が種子島に近づき、早朝、島影をずーっと見ながら、美しい風景の広がる西之表港に入港しました。歓迎式典の後、素晴らしい博物館



鉄砲伝来については日本国内ではよく知られていますが、ポルトガルでは？

(種子島開発総合センター)を見学。その間の島の皆さんとの交流は心あたたまるものでした。そのような意味で、種子島のイメージは随分変わりました。

全般的には知られていると

言われていますが、残念ながら日本ほどではありません。しかし、私は歴史学を専攻していましたから大学の時から知っていました。ヨーロッパ各国では、この歴史的な出来事は全く知られていません。ですから、今回の私どもが日本を訪問したという事実などを含め、この四百五十周年記念行事はヨーロッパ全体の注意を引きつける一つの材料になるのではないかと思います。



共同記者会見で報道陣の質問に答えるマリオ・ソアレス大統領（市内ホテル・27日）



**これまでの日ポ
経済交流（貿易
不均衡）と今後
の交流は？**

日本とポルトガル両国には貿易不均衡が存在します。な



**日本の印象は
いかがですか？**

今回が四回目の訪日ですが、十日間にわたりこれほど長く日本に居たことはありませんでした。一九八四年に最初に訪日した際は、かなりハードな日程で、東京、大阪、京都、長崎しか訪問できませんでした。その後、大喪の礼、即位の礼に参りましたが、東京を中心とした非常に短い日程で制約のあったものでした。ただし、今回は、車での移動もかなりあり、日本の自然や農業の姿を見る機会に恵まれました。日本の効率的な農業、それに日本の発展の度合いに目を見はりました。



**日本ポルトガル
交流の出发点
「種子島」との
今後の交流は？**

ぜなら、日本からの輸入品は車とか機械とか高度な技術を導入した高付加価値の商品ばかりに限られます。一方、ポルトガルから日本に輸出されるものは、大理石、ワイン、コルク、みかげ石など一次産品に限られており、その現状や両国の経済力から考えると貿易不均衡が発生することは避けられない事実だと思えます。しかし、その不均衡をカバーする形としては、日本からポルトガルへの投資を促進したり、観光を活発にするなどが考えられます。

私もポルトガルで日本のことを思い起こす際に「種子島」を忘れたことはありませんし、必ずついでくる名前であります。四百五十年前に最初に出会い、暖かく迎えていただいたという記憶がいまだに私どもの中に残っているのではないのでしょうか。友情と

非常に暖かい歓迎というのは今でも実施されていまして、私どもの国からかなり多くの人が訪問していますし、そして種子島からもポルトガルに皆さん行っていたでいます。その中で育まれた友情と相互の歓迎ぶりは、よく今の両地の状況を表しているのではないかと思います。そしてこれは、やはり、未来に向かって発展していく基盤が準備され構築されて来ていると思うのです。さらに今後、観光とか青少年の交流とかに発展していくことは確実ではないかと思えます。



歓迎行事の間隙をぬって行われた記者会見でしたが、大統領閣下は「代表インタビューではなく、それぞれの記者の質問にお答えします」とところよく会見をおひきうけになり、会見終了時には日本語で流暢に「ありがとう」とにこやかにご挨拶されるなど、会見の随所に閣下の優しいお人柄がうかがわれました。

新しい安城の 歴史のスタートに!!

第1回 安城校区文化祭盛大に開催

「生き生きと活動する地区づくり」を目指して、第一回安城校区文化祭が十月二十四日、安城小学校を会場に盛大に開催されました。

快晴に恵まれた会場には、敬老の皆さんをはじめ、校区民多数が参集。校庭では、児童生徒による郷土芸能が発表され、また、物産の展示即売も賑やかに行われました。へき地集会所での式典で、榎元一已校区長は「3か月前から若者を中心に準備を進めてきました。今回の文化祭

は、安城にとって小さな一歩ですが、永遠に歴史を守る者として、これを契機にそれぞれが精一杯頑張らしよう」とあいさつ。つづいて榎本市

長が「過疎化、高齢化など、安城がかかえる課題は、本市全体にも言える厳しい問題です。校庭の格の樹は安城の区民一人ひとりが力を合わせ、雄々しく立つ姿でありましよう。今、安城がもえている!!を合言葉に、区長を中心に校区振興を」と激励しました。書道や絵画など区民の作品が

展示された会場では、この後、意見発表や舞台発表も行われ、安城の文化が終日、花開きました。

昭和三十六年、三二六人の児童数をかかえていた安城小学校もおよそ三十年後の今は三十人に激減。過疎化、高齢化の進行、そして青年層の定着が減少する中、校区は今年、「ミニ安城を語る会」を開催して五十三件にも及ぶ問題点を提起し、一致団結して問題解決にあたろうと決意。今回の文化祭ポスターでも「いま安城が危ない!!」とあえてショッキングなタイトルを掲

載し、校区民一人ひとりに危機意識の高揚を訴えました。

「文化祭の全てが安城の歴史であり、これからが新しい安城の歴史のスタートです」と力強く語る榎元区長。安城では、今年の夏から始まった愛知県安城市との交流(詳しくは次号で紹介)や、二年後の米国商船カシミア号漂着一一〇周年など話題も多く、これらを積極的に推進し、今後の地域振興に弾みをつけたいと関係者は期待を寄せています。

▶児童・生徒による伝統芸能の発表のほか、絵画・写真・書道・生け花などの展示も行われた。

▶市民体育祭(10/17)にはお揃いのTシャツで出場



▶愛知県安城市の協力で文化祭会場に展示された七夕飾り





常の山関が引退

出羽海部屋で断髪式

郷土出身の「常の山」関（本名：橋本重和、国上久保田出身）が、今年三月場所を最後に力士を引退。六月十九日、西国（墨田区）の出羽海部屋において、後援会長の榎本市長ら関係者多数が出席して断髪式が行われました。

「常の山」関の初土俵は昭和五十五年七月。六十二年三月場所まで新十兩に昇進。平成二年十二月十五日、西之表市民体育館で開催された日本大

（写真は、断髪式で「十三年間、本当にご苦勞様でした」とはさみを入れる後援会長の榎本市長

相撲種子島場所所で郷土に錦を飾り、翌三年三月に新入幕を果たすなど大活躍。しかし、頸椎損傷などケガが後をたたず、その回復がおもわしくないので、このことから今回、引退を決意し、力士生活に終止符を打つことになったものです。

巨漢がひしめく相撲界で、小さな体ながら大奮闘し、地元

の相撲ファンを沸かした「常の山」関、ご苦勞様、そして、ありがとうございます。

交通安全ゲートボール

県大会で優勝

住吉能野チーム

初出場で優勝を
した住吉能野チーム



第十六回交通安全ゲートボール鹿兒島県大会が十月二十二日、県立鴨池緑地球技場で開催され、本市から出場した住吉能野チーム（主将：浦添助直さん）が優勝の栄冠に輝きました。本大会には県下二十六チームが参加。

予選リーグ、準々決勝までの三試合は抜群の強さを見せた能野チームでしたが、さすがに地区予選を勝ち抜いた県下の強豪がひしめく本大会、金峰町との準決勝では十七対十七の同点となり、内容差で

かろうじて勝者に。顔娃娃（石垣長生会）との決勝戦も熱戦の末、十九対二十二で勝利をおさめました。本大会初出場で優勝という快挙を成しとげた皆さんは次の方々です。おめでとうございました。

（競技者名……敬称略）

浦添 助直	73歳
田添 シズエ	66歳
川東 博	73歳
日高 六彦	68歳
上畑 甚也	69歳
浦添 シツ	66歳
田添 スエ	70歳

郵便局前に

干支の「戌」

種子島郵便局（村尾隼一局長）は、年賀はがき発売日の十一月一日、局前に飾り付けした来年の干支「戌」の除幕を行いました。

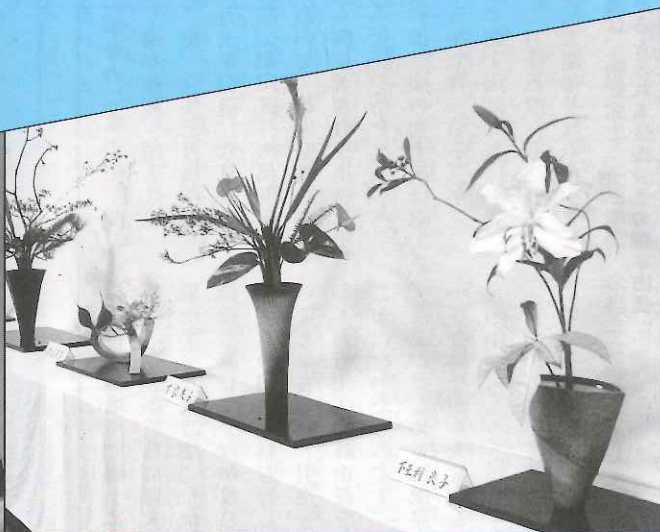
西之表幼稚園児二十八人によって除幕したのは大きな土佐犬。同幼稚園児からもらった愛称は「ペログマ」。

恒例となった同局の干支の飾り付けはこれが五回目。郵便課の清水英次さん（40）ら職員が10日間かけて製作した力作は、今回も市民の人気を呼びそう。





あでやかに 市民文化祭



舞台では、舞踊、剣舞、詩吟、器楽演奏のほか合唱や長唄、児童劇が発表され、連

六百人。

現在、同協会に加盟しているのは四十団体、会員数は約

やかに開催されました。

五日間、市民会館を会場に賑

が十一月三日から七日までの

文化協会主催、河東^{あき}瞭会長

る第二十二回市民文化祭（市

ろの文化活動の成果を発表す

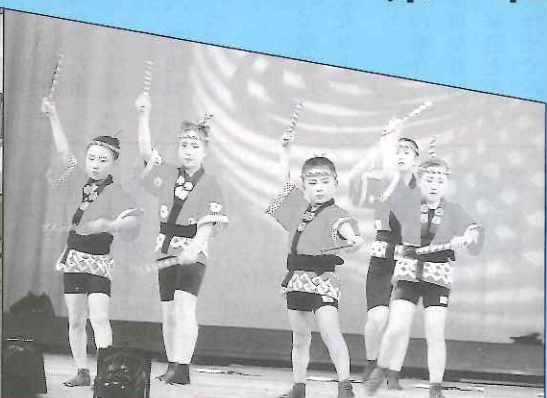
市内の文化愛好者が、日ご





文化の祭典

第22回



日、超満員の人気を呼びました。また、市民会館会議室では、絵画や写真、華道の展示発表もあり力作の数々は、訪れた皆さんの注目を集めていました。

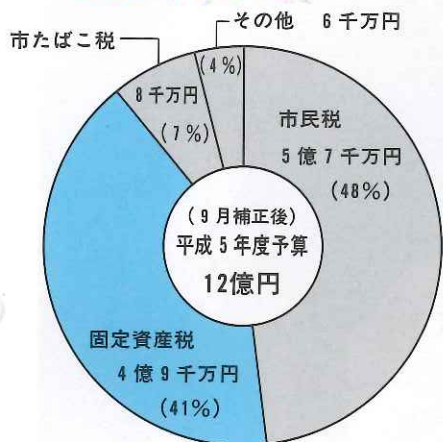
その他、同会館入口では、書道や俳句の作品展示に加えて、菊寿会の皆さんが丹精込めて育てあげた見事な菊も多数展示紹介され、その造形美に感嘆の声が聞かれました。

なお、六日の式典では、「種子島を語る会」の平山武章さんによる「時義公の商法」と題した特別講話が行われ、鉄砲伝来を背景に琉球、薩摩、堺などを相手に商魂たくましく活躍する若き島主「種子島時義公」を紹介する郷土史に皆さん熱心に聞き入っていました。また、文化功労者表彰では、書道研究「一翠会」の主宰で、市文化協会々長として活躍中に亡くなられた（故）中島貞美さん、そして、現在、西之表詩吟同好会（結成は昭和二十七年）代表の遠藤吉助さんの両名に表彰状を贈り、文化振興に対する永年の貢献をたたえました。

評価替えが行われます

評価は上がっても税負担は急には増えません

■評価替えによる税負担をできるだけ緩和するために、土地・家屋ともにいろいろな軽減措置がとられることになっています。



■市税収入に占める固定資産税の割合

固定資産税は、毎年一月一日現在で、土地、家屋や償却資産を所有している人が、その資産がある市町村に、その資産の価値に応じて納める税のことです。

問1

固定資産税とは、どんなもの？

平成六年度は、三年ごとに行われる固定資産税の評価替えの年にあたります。西之表市の市税収入の約四割を占め、市民税とともに、市がさまざまな行政サービスを行うための大切な財源となっているのが固定資産税です。そこで今月は、この固定資産税の評価替えがどのように行われるのか、また、税負担ほどのくらいになるのかなど、問答式でご紹介いたします。

〈市税務課〉

問2

固定資産税の評価替えとは？

土地、家屋については、三年ごとに資産価値の見直し（評価替え）が行われることになっており、次の評価替えは平成六年度に行われます。平成六年度の評価替えから、土地基本法第十六条に基づいて、全国一律に土地（宅地）の評価は、地価公示価格（国土庁が調査し発表する土地売買などのめやすとする価格）の七割程度を目標に、評価の均衡化、適正化をはかることが定められています。

問3

そうすると、固定資産税はいくらになる？

個々の場合によって税額は増加したり、減少したりと変わります。次の例（下の表）の場合、土地の固定資産税は毎年5%ずつ上昇しますが、家屋を含め、都市計画税も合わせてみ

左上の図のとおり、固定資産税は本市の市税収入の41%を占め、重要な財源になっています。

例

ると、全体では、六年度は3%の軽減に、また七年度、八年度は約1%の上昇になります。

このように、一般的に、増加しても数パーセント程度の増加にとどまるとみられます。

土 地 評 価	住宅用地の面積 200㎡	家 屋 評 価	昭和57年12月建築 木造2階建 専用住宅 床面積110㎡
(平成3年度) 4,000,000円		(平成3年度) 5,170,000円 (47,000円／㎡)	
(平成6年度) 8,500,000円		(平成6年度) 5,014,900円 (45,590円／㎡)	
評価の上昇割合=2.1倍			
(固定資産税の税率は1.4％，都市計画税の税率は0.1％)			

平成5年度および平成6年度以後の税額		区分	平成5年度	6年度	7年度	8年度
(単位：円)		土地				
()内は前年に対する伸び率		固定資産税	14,000	14,700 (5%)	15,400 (5%)	16,100 (5%)
		都市計画税	4,000	2,800 (△30%)	2,800 (0%)	2,800 (0%)
		家屋				
		固定資産税	72,300	70,100 (△3%)	70,100 (0%)	70,100 (0%)
		都市計画税	5,100	5,000 (△2%)	5,000 (0%)	5,000 (0%)
		合計	95,400	92,600 (△3%)	93,300 (1%)	94,000 (1%)

※個々の土地、家屋の状況によって税額、伸び率は変わります。

固定資産税の

輕減措置

固定資産税

■土地関係

①住宅用地の課税標準の特例措置の拡充

(現行)	(改正後)
------	-------

- ・一般住宅用地 価格の1/2 → 価格の1/3
- ・小規模住宅用地(200㎡まで) 価格の1/4 → 価格の1/6

②評価の上昇割合の高い宅地に対する暫定的な課税標準の特例措置の導入

(現行)	(改正後)
------	-------

- ・評価の上昇割合の高い宅地 特例措置なし → 評価の上昇の程度に応じて
価格の $3/4 \sim 1/2$

③宅地について、よりなだらかな税負担となるような負担調整措置の実施

- ①～③の措置により、平成6年度から平成8年度までの各年度分の固定資産税は、次の算式により計算されることになります。

(算式) $\text{前年度の課税標準額} \times \text{負担調整率} \times \text{税率} = \text{当年度の税額}$

区 分	評価の上昇割合※	負担調整率
住 宅 用 地	3.6倍以下のもの 3.6倍を超え、4.8倍以下のもの 4.8倍を超え、6.75倍以下のもの 6.75倍を超え、15倍以下のもの 15倍を超えるもの	1.05 1.075 1.1 1.15 1.2
非住宅用地	2.4倍以下のもの 2.4倍を超え、3.2倍以下のもの 3.2倍を超え、4.5倍以下のもの 4.5倍を超え、10倍以下のもの 10倍を超え、18倍以下のもの 18倍を超えるもの	1.05 1.075 1.1 1.15 1.2 1.25

※評価の上昇割合とは、平成6年度評価額を、原則として平成3年度評価額で除して得たものです。

■家屋関係

- 家屋の評価を見直し、税負担を軽減します。

■家屋の耐用年数の短縮

(代表例)

(現行) (改正後)

- | (代表例) | | 耐用年数 | 減価率 |
|-----------------|-------|-----------|-------|
| ・木 | 造 住 宅 | 24年 → 20年 | 4.17% |
| | | 32年 → 25年 | 3.13% |
| ・非木造住宅・アパート(鉄筋) | | 70年 → 60年 | 1.43% |
| 事務 所(鉄骨) | | 50年 → 45年 | 2.00% |
| 工 場(鉄骨) | | 40年 → 35年 | 2.50% |

■非木造の住宅・アパートの初期減価の引下げ

(現行) (改正後)

$$0.9 \rightarrow 0.8$$

■ 在来分の家屋(既に課税されている家屋)の3%減価

都市計画税

■土地関係

- 住宅用地の課税標準の特例措置を新たに導入します。

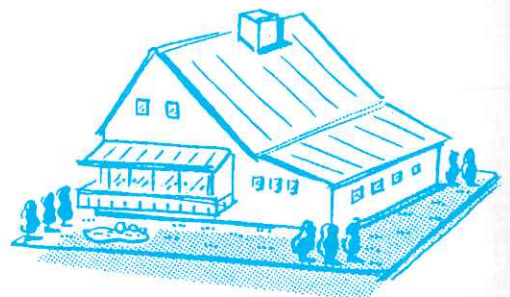
(現行)

(改正後)

- ・一般住宅用地 特例措置なし → 価格の2/3
・小規模住宅用地 特例措置なし → 価格の1/3

■家屋関係

- 固定資産税と同様に耐用年数の短縮等を行い、税負担を軽減します。



住宅用地の課税標準の特例措置の拡充を行います。

- 固定資産税と同様の税負担の調整措置を講じます。

- ・ 評価の上昇割合の高い宅地に対する暫定的な課税標準の特例措置
- ・ よりなだらかな負担調整措置

固定資産税は「住みよいまちづくり」のために欠かすことのできない大切な自主財源です。今後も、評価の均衡化、適正化をはかり、公平で適正な課税に努めてまいりますので、納税者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

あなたの固定資産税
ただしい評価と
むりない負担



左から：松田 山下 江口 鮫島 瀬下 山下 山下
 義弘くん 徹くん 智春くん 卓くん 雄士くん 育生くん 祐介くん
 (古田小6) (住吉小6) (古田小6) (住吉小4) (住吉小5) (住吉小4) (住吉小5)



みんなの広場



▲小川さくらちゃん (1歳)
 父：勝 母：好恵 (武部)

この人にSPOT

No.45

全国大会ゆうあいピックで金銀メダル獲得

川頭 泉さん (「たちばな園」園生, 26歳, 上石寺出身)



10月16日と17日、熊本市で開催された第2回ゆうあいピック熊本大会に県代表で参加した社会福祉法人豊山会たちばな園の園生、川頭さんは、走幅跳4m79cm、100m走では自己ベストの13秒1をマークして、それぞれ金銀のメダルを獲得するという快挙を成しとげた。また、400mリレーでも大活躍し、鹿児島県チームは4位に入賞した。

全国から選手・役員約4000人が参加した本大会には高円宮殿下ご夫妻もご臨席。たちばな園からは園生20人、職員6人も応援団として会場へ。スタンドからの声援にこたえて、川頭さんは大会初出場のプレッシャーもものともせず各種目で持てる力と技をいかに発揮した。同行した遠藤マサエ園長も「出場者とわちあえた感動の連続は、園生たちの大きな励みになりました」と満足。来年の群馬大会へ意欲を燃やす川頭さんに市民の皆さんエールを!!

うぶこえ・ごめいふくは
 十月中の受け付け分です。

深田	塩浦	時任	中村	奈尾	濱田	末吉	馬場	長瀬	鎌倉	野崎	長瀬	松本	内田	木場	竹内	南	種子	山内	江口	西川	東	立川	鮫嶋	出生児
芹香	大介	洋輝	愛美	喜乃	峻趣	智絵	広大	恵斗	大作	大司	綾華	龍太郎	和香	栄作	慶太	由貴	葵	美穂	昂希	孝文	豊	孝文	豊	出生児
正	恵	保	貞	博	利	勇	修	明	隆	和	忍	恭	竜	千	清	貴	弘	芳	大	和	正	真	豊	保護者
信	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	彦	保護者
池野	池野	上石寺	東町	松島	納曾	上之原町	野首	壺泊	浜脇	池野	松島	美浜町	鴨女町	榕城中目	榕城中目	小牧	松島	鞍島	川島	川島	川島	川島	住所	

うぶこえ
 おめでとう

人口の動き (住民基本台帳)

平成5年11月1日現在(前月比)

総数……20,487人 (+13)
 男……9,835人 (+12)
 女……10,652人 (+1)
 世帯数……7,874世帯 (+3)
 市の面積……205.69km²



中野	南	宮浦	榎本	上妻	牧元	吉留	白元	徳永	日高	氏名
周太郎	キク	ミチ	テル	イ佐	仙助	孝一	一美	テツ	正彦	年齢
80歳	77歳	74歳	82歳	84歳	83歳	37歳	58歳	86歳	73歳	住所
鞍馬	植松	壺泊	現和之町	安城上之町	下能野	中野	鴨女町	鴨女町	鴨女町	住所
勇	松	泊								

ごめいふくを
 お祈りします

今年には世界各地で大自然が猛威をふるい人的にも物的にも甚大な被害を被っています。私が住んでいる茨城の、米の不作にも勝る、鹿児島雨や台風被害に心からお見舞い申し上げます。

さて、ふるさとを思いながら、各界で活躍の方々により「市政の窓」へのリレー寄稿に、せんえつではあります。故郷での感動体験をお伝えする機会を頂戴致しましたこと、独りよがりの拙い文ですが、ご容赦くだされば幸いです。

鉄炮伝来四五〇周年の今年には、種子島での色々な催しに加え、テレビラジオでの報道にも目や耳がそばだちます。今年八月十四日、五〇歳記念の母校訪問（安城中）の同級会に出席した私達は、鉄炮伝来四〇〇周年生まれです。

昭和三十一年四月、十五名中の一人として、私も、立山小学校から安城中学生となりました。

往復四里半の砂利道は大川田や川脇で大きく蛇行して、川向こうを行く友達の声で自分の遅れを計ったものでした。冬は懐中電灯をともしながら、途中のシダの中に隠したふかしたての芋は帰り道のおやつにいた大きなながら、竹の子やツワヤ、野いちごやぐみの実など、季節ごとの遊び



昨年十二月、友人と高尾山に登る（本人は向って右）

とみ なが みち こ
富 永 道 子さん

（旧姓：平山）

（現住所：〒270-12 茨城県北
相馬郡利根町布川2208-35
TEL：0297-68-7483）

出身：住吉中之町

住吉小・古田小・立山小・安城中
・住吉中・種子高（卒）

の中で家への手伝いもしていたような気がします。弱かった体も丈夫になりました。

二年生への進級は私と安城中との別れでした。立山小学校長だった父の実家の住吉中学校では、その年、私の転入で二クラスを維持することができ、安城中学校では、転出しても二クラス編成に影響は無かったのだそうです。

こうして住吉中学校を卒業するまでに私の転校は五校目を数えました。覚え切れないほど沢山の同級生も出来ました。三十六年ぶりに訪ねた懐かしい安城中学校にも過疎の波は寄せているようで、夏休み中の閑散とした静けさの中

に寂しさも覚えました。

朝礼中の貧血で、校庭の大きな公孫樹の木の下に寝かされていたことや、学校で飼育していた家畜の草当番のことや、校舎の基礎工事用にと、浜から石を何度も運んだことなど思い出しているうちに、音楽室の壁の校歌が目に入りました。声を出して読み始めたらメロディが自然について出てきました。側にいらした先生に問われるまま「ええ、覚えています。」と意気込んで応えましたが、何と、先生は目の前のピアノを、造作も無く、高らかに弾き始めて下さったではありませんか。みんな集まっていた合唱となりしました。その日は暑さもひとしおでしたが、五十歳の男性達の真剣な顔、五十歳の女性達の涙の顔、感激にむせびながら、三十数年ぶりに三番までしっかり歌ったこと。殆どの人が卒業以来のことだったそうです。が、一年生の時だけの在校だった私には身震いするほどの感動でした。食料も物質も情報もすべて乏しい時代だったからこそ、幾度歌ったのかと思われる校歌を終りま

で覚えることができたのでしよう。

素早くピアノを弾いて下さった対応に、感激の礼状を書きましたら、校長先生は丁寧なお返事を下さいました。このことも大きな感動となりました。

出郷者にとって、こうした折々のイベントは、弥が上にも郷愁をつのらせてくれます。世話役の在郷の方々はその都度、大変なご苦労ご尽力のことと、感謝に絶えませんが、また、つい、ふるさとに甘えてしまっています。

いつまでも変わらぬふるさととでお願いながら、一方で、交通や産業の振興等、不満も感じるという矛盾を持ち合わせています。種子島の発展のために関係の方々のご苦労は大変なものでしょうが、この寄稿を機に、私に出来ることとして何かあるのかを、じっくり考えてみることにします。

「五・六万円でいけるといいう海外旅行の土産より、年寄りに会いに来てくれることが、何よりの土産だけ……」と、言った老人の言葉をかみしめながら筆を終わります。

明け六つ暮れ六つ鐘の本源寺

郷土史家・平山武章さん

私は目がさめると窓の白むのを待ちながら耳を澄ます。明け六つ、ではなく、朝六時

の鐘の音をきくと、今日もいい日だなと思う。さて、此の本源寺の鐘は極



東町から市役所に上る道を本源寺坂と言ったが、本源寺はもともとは現在の市役所が寺地であり、現在地に移したのは16代久時と伝えられる

めて新しい。檀家の古川時純、タツゴ夫妻（古田出身で池田に在住）の寄進されたものである。

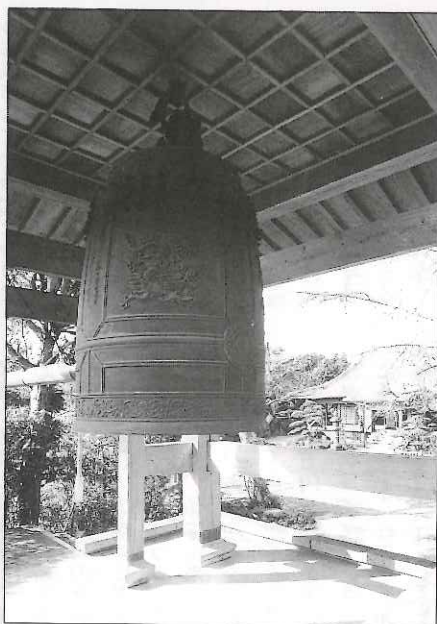
草切節に「増田周袈裟女と本源寺の鐘は、響き渡らぬ里はない」の句があつて、本源寺の鐘は古くから有つたように思われるが、実は草切節も新しい。明治維新後、牧が開放され牛馬が拂い下げられた以後の、即興歌を集めたのが草切節だ。

島に鐘楼の出来たのは嘉永四年（一八五一）、内城の矢倉台に建てられたのが最初である。撞き手は本源寺の番僧が当番でやつたので、これが本源寺の鐘となつたのである。八板正二作の島廻りの歌では「……榕城校に撞く鐘は午前八時を教えたり」とある。

島の宗教史を考える時、私はよく此の境内を訪れる。芭蕉碑には風流の島を改めて見直すが、西側の供養碑群は興味と探史の原点だ。

此の寺は文明一年（一四六九）草創、開山は日良で、開基は十一代島主時氏である。既に慈遠寺と大会寺が

▲全国有数の大梵鐘といわれる本源寺の鐘は、口径一拵、高さ一拵八十五拵、重さは一千三百十二・五キに及ぶ



在つたから、島では三番目の大寺であつた。本能寺と本興寺の末寺で、島主家の菩提寺として免地二反。寺領百斛、杜領三十斛、位牌所領二十斛、計百五十斛の釈迦堂、祖师堂、杜檀、拜殿、位牌所、客殿、書院のそれぞれ板葺きの七堂の伽藍だつた。それまでは慈遠寺の住職は田林、大会寺の住職は喜道、二人は本源寺の開基の時氏にとっては伯父に当る人、そして二つの寺は奈良の興福寺の末寺で、当然、法相宗であり、それは既に密教へと移っていた。

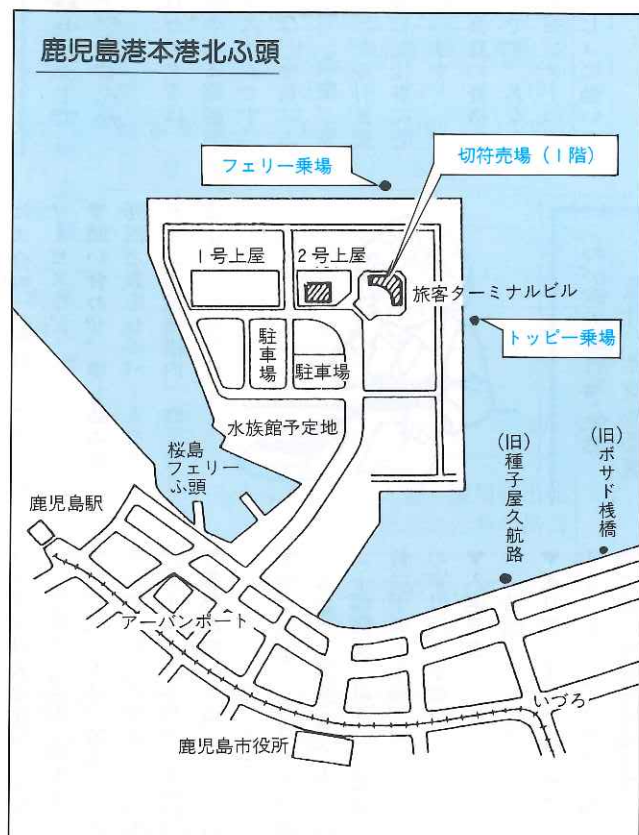
本源寺の資財帳には、日良は種子島入りするに当って、

甲冑を持つて来たといわれ、それが寺宝として遣つていたという。戦う日良の姿勢があざやかであり、他宗折伏の島入りだつた。矢留石の佛力説話もその逆の表現であつたと見られる。

江戸幕府は日蓮宗の中の不受不施派、すなわち妙満寺派を禁圧したが、その宗派がここ種子島には確かに温存されていたこと（六郷のうち、納曾と小牧の間に妙満寺があり、地名も残っている）。妙満寺の僧が、島主の命をおびて琉球に赴いたことなど、此処を歩くとき、私の古代への探訪の夢は楽しく拡がる。

鹿児島港

種子屋久航路の切符売場、乗船場が 12月13日(月)から北ふ頭に移動!!



鹿児島港本港北ふ頭工事がこのほど一部完成し、12月13日(月)から、種子屋久航路の切符売場および乗り場が左の図のとおり、北ふ頭に移動しますのでご注意ください。

なお、鹿児島商船㈱のジェットフォイル「トッピー」は10月1日(金)から次のとおり、新ダイヤで運行されていますのでお知らせします。

★ジェットフォイル「トッピー」冬期ダイヤ [10月1日(金)から2月28日(月)まで]

鹿児島→種子島		種子島→鹿児島	
07:30	09:05	08:00	09:35
10:00 (屋久島経由)	12:45	09:20 (屋久島経由)	12:05
13:00	14:35	13:00	14:35
14:50	16:25	16:40	18:15
鹿児島→屋久島		屋久島→鹿児島	
07:30 (種子島経由)	10:05	10:20	12:05
10:00	11:45	12:00 (種子島経由)	14:35
13:00 (種子島経由)	15:35	15:50 (種子島乗継)	18:15
種子島→屋久島		屋久島→種子島	
09:20	10:05	12:00	12:45
14:50	15:35	15:50	16:35

台風・豪雨

被災中小企業者に対する 低利の災害復旧資金創設

この度の集中豪雨や台風により、被害を受けられた中小企業者の方々に対し、県は次の内容で低利の「災害復旧資金」を創設しました。

■対象となる災害

平成5年6月12日から8月10日までの集中豪雨および台風による災害、平成5年9月2日から9月3日までの台風13号による災害

■対象者

県内に事業所を有する中小企業者または組合で、原則として6月以上(体質強化資金については1年以上)信用保証協会の対象業種を営み、かつ、県民税および市町村民税を完納しているもの。

■対象地域

県内全域(ただし、市町村の発行する災害証明が必要)。

■申込期限

平成5年12月31日まで

■融資内容

《小口資金》

融資限度額 600万円

(300万円までは無担保)

融資利率

年3.0%
(別に保証料0.25%)

融資期間

5年以内
(うち据置6月以内)

※資金使途は、災害復旧のための運転資金、設備資金。

《体質強化資金》

融資限度額 3,000万円

融資利率 年3.4%

(別に保証料0.75%)

融資期間

5年以内
(うち据置1年以内)

運転資金

設備資金 7年以内
(うち据置1年6月以内)

※資金使途は、災害復旧のための運転資金、設備資金。

※その他、商工会等の認定書が必要です。

■問い合わせ先

鹿児島県中小企業課(県庁)

☎0992-8111

西之表市商工会 ☎1141

12月19日(日)午前9時～榕中格技室

〈問い合わせ・申し込み先: 事務局 野平道実②1111内線268〉

シルバー人材センターで 働いてみませんか

シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者の新しい就業システムです。

同センターでは、会員にふさわしい仕事を、企業、家庭、公共団体などから引き受け、会員の従事した仕事に応じて報酬を支払います。

仕事の内容、会員の資格などは次のとおりです。あなたもシルバー人材センターの会員になり、いっしょに働いてみませんか。

▼会員になるためには

おおむね六十歳以上で、働く意欲のある健康な方なら、会員になることができます。

▼入会の手続きと会費

入会申込書はシルバー人材センターにあります。会費は一年一、〇〇〇円納入。

▼仕事の内容

(屋内外の軽作業) 公園清掃、除草、(事務分野) 一般事務、毛筆硬筆、あて名書き、受付事務など、(技術分野) 大工仕事、植木手入れ、障子張り、ペンキ塗り、(サー

ビス分野) 福祉・家事援助サービスなど

▼問い合わせ、申し込み先:
徳西之表市シルバー人材センター(市役所構内) ☎③2621



「わが家の家計簿・生活設計」体験談募集

貯蓄広報中央委員会では、家計簿をつけたり、生活設計をたてたりした体験談を募集しています。

家計簿をつけ始めたきっかけや、記帳するうえでの苦心やアイデアなど、内容、タイトルとも自由です。どうぞお気軽にご応募ください。

▼原稿: 本文は二、〇〇〇字(B四版四〇〇字詰原稿用紙五枚)以内にまとめ、縦書、右上綴。家計簿体験談には支出内訳表、生活設計体験談に

は生活設計表を添付。原稿には、応募者の名前、郵便番号、住所、電話番号、職業、年齢を記載。封筒の表面には「家計簿生活設計体験談」と明記。

▼募集期間: 平成五年十二月一日～平成六年二月末日

▼中央表彰: 特賞各十万円(五編)、優秀賞各五万円(十編程度)ほか、応募者全員に平成七年用「明るい生活の家計簿」を贈呈。

▼入選発表: 平成六年六月ごろに新聞、テレビ等で。

▼送り先: 〒八九二 鹿児島市山下町十四の五十(県庁内)鹿児島県貯蓄推進委員会 ☎0992②8111内線2146

年末年始の交通事故・雑踏事故の防止

年末、年始のこの時期は、毎年、交通事故や雑踏事故が多く発生しています。それは、人や車の動きが慌ただしくなり、また飲酒の機会も多くなるからです。

楽しく、明るい正月を迎えるためにも、次のことに心がけましょう。

《交通事故の防止》

- スピードは控えめに安全速度を守りましょう。
- シートベルトは、運転者も同乗者も必ず着けましょう。
- 違法、迷惑駐車はやめましょう。

《雑踏事故の防止》

- 小さな子供さんは、必ず手をつないで、目を離さないようにしましょう。
- お年寄り、子供さん連れの場合は、出かける時間帯を考えて、なるべく空いている時間帯を選びましょう。
- お酒を飲んだからのお出かけは事故のもとです。十分注意しましょう。

狩猟期を迎えて

十一月十五日から来年の二月十五日まで狩猟の解禁日です。

毎年、狩猟事故の絶無を願いますが、全国的に事故が発生しています。

ハンターの皆さん、銃の危険性を十分認識し、次の基本ルールを確実に守り、事故のない楽しい狩猟を心がけましょう。

《事故防止の基本ルール》

- 猟銃は自分で確実に保管しましょう。
- 脱包を励行しましょう。
- 水平撃ちは避けましょう。
- 矢先の安全を確認しましょう。
- 銃向は絶対に人のいる方向に向けないようにしましょう。
- 猟仲間の位置を確認しましょう。

※また、ハンター以外の方で、この期間中に野山に行かれる時は、目につきやすい派手な服装で、ラジオを携帯するなど、ハンターへ注意を呼びかけてください。

交通事故発生状況

平成5年11月15日現在(対前年同月比)
※死者傷者とも発生場所での件数です

区分	発生件数	死者	傷者
西之表市	66(+7)	0(-1)	74(+7)
中種子町	34(-12)	2(+1)	42(-9)
南種子町	24(+9)	0(-1)	31(+13)
計	124(+4)	2(-1)	147(+11)

訂正とおわび

「市政の窓」11月号に次の誤りがありました。深くおわびして訂正いたします。

10頁 鎌田陽一郎さん
◎小牧 ◎上石寺
12頁 高校生100m走(女)
◎永田裕美◎沖田あすか

10月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 162.9トン		島内産 22.2トン (13.6%) 島外産140.7トン (86.4%)		
取引額 3,314万円		島内産 626万円 (18.9%) 島外産2,688万円 (81.1%)		
種	類	入荷量トン	取引額千円	単価円/kg
島内産野菜類	根菜類	3.0	494	164
	葉茎菜類	6.5	2,190	339
	果菜類	2.4	511	212
	その他	6.9	1,486	217
	小計	18.8	4,681	250
島内実産類	バナナ	0.1	21	250
	その他	—	1	155
	小計	0.1	22	239
島内産花類・鶏卵・加工品・その他		3.3	1,554	468

◎10月の特徴……島内産野菜は、大根、菜類の出荷が増えています。また、白菜、ほうれん草の出荷が始まりました。
◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用下さい。

新着図書

市立図書館
☎②1111 内線274

- 大だこマストン海底のたたかい 1～18巻他
西川おさむ
花丸OLクラブ
丸山 浩二
鈴木 亨
○女性のマナー読本
○家系のしらべ方
○歴史と旅
○冠婚葬祭のすべて
○西洋人物こぼなし辞典
○隠語辞典
○あの人この人
○文書書式実例集
○世界歴史人物なぜなぜ事典
深見 兵吉
三浦 一郎
樺垣 実
戸板 康二
廣田傳一郎
アレクサンドロス他 1～25巻
木村尚三郎監修

鉄砲館だより

種子島開発総合センター
☎③3215(ミンナミニニコ)

※総合センター内の市民作品展示コーナーは入場無料です。お気軽に入館・ご鑑賞ください。

※12月の展示

- 鉄砲伝来450周年鉄砲祭図画展 12/1～12/24
○市民作品展(手芸) 12/1～12/24
○種子島の高校生美術展 12/26～1/15

平成5・6年		休日在宅医		休日営業スタンド			
12月5日 (日)	田上病院 松 島②0960			種子島石油 鴨女町②1347	鯨島石油店 現 和⑥0005		
12日 (日)	池田医院 天神町②0260			市農協第1 川 迎②0543	中村石油店 現 和⑥0021	江口石油店 国 上⑥0808	
19日 (日)	多愛病院 中 目③2401			有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川 添 商店 現 和⑥0810	水口石油店 国 上⑥0007
23日 天皇誕生日(木)	中目医院 野 首③0350			種子島石油 東 町②1345	徳永石油店 安 城③7379	一口石油店 安 納⑥1111	
26日 (日)	松崎医院 西 町③2455	城西医院 中 目②0243		全 店 営 業			
1月1日 元旦(土)	田上病院 松 島②0960			全 店 休 業			
2日 (日)	池田医院 天神町②0260			全 店 休 業			
3日 (月)	多愛病院 中 目③2401			全 店 午 前 中 営 業			
9日 (日)	中目医院 野 首③0350			三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石 堂②1291	内 門 商店 沖ヶ浜田②0291	向 江 商店 安 納⑥1147
15日 成人の日(土)	松崎医院 西 町③2455	城西医院 中 目②0243		全 店 休 業			
16日 (日)	井元医院 東 町②0075			種子島石油 鴨女町②1347	鯨島石油店 現 和⑥0005		
23日 (日)	田上病院 松島②0960			市農協第3 松 島③0128	中村石油店 現 和⑥0021	江口石油店 国 上⑥0808	
30日 (日)	池田医院 天神町②0260			有馬石油店 西 町②0121	瀬下石油店 住 吉③3836	川 添 商店 現 和⑥0810	水口石油店 国 上⑥0007



Portugal

ポルトガルへの

旅 ③5

ポルトガル紀行④

——文章——
橋原定男助役

▶サグレスから望む日の出、日の入りは実にダイナミック
▼ヴィラ・ド・ビスポからサグレスに向かう市営バス



アデュー・アデュー
アデュー……ビスポ!!

五月二十八日(金)、午前九時、国営バレイラホテルを発つ。ロドリゲス市長自らの御案内で、サグレス岬へ、サン・ピセンテ岬へ。

要塞や修道院が、七十メートル余りの断崖絶壁の上に建

ち、大西洋に對う。サグレスの港、岬、要塞、修道院など

について、ロ市長の説明をきく。いわゆる南蛮人が日本へもたらした珍奇な文物、それは鉄砲であり、鋏、ボタン、

ジュパン、カルサン(袴の一種)、コンペイトウ、ボーロ、タバコ、カルタなどなど。このサグレスの港が発祥駅とも

言うべきか。

眼も眩む断崖に立ち、縹渺たる大西洋を眺めわたすと、一行誰もが「はるばると

来つるものかわ」の感慨一入であった。

両岬で一時間ついやし、もっと北方のニキロほど続く海浜に降りたつ。

ロ市長は、近頃カメラにすこぶる熱心と書く。しきりに砂浜、岩礁、屹立する丘などをキャッチしておられた。皆砂浜にあそび、大西洋の海水を手に掬ったり、風景も賞でながらカメラにおさめる。

決められた時刻に全員集合する。ポツーンと一つある海浜レストランで、ロ市長主催の別れの昼食会となった。

ワインで一同乾杯。これでロ市長等とも、いよいよ別離

という刻となる。一行一人ひとり

が、悲しみとも、かと言って喜びでもない昼食会となった。ロ市長は、終始笑顔

で語り、毛井さんが通訳してくれる。ロ市長は、話の合間に、ツアーのスナップ撮りが

続く。別れがたい真昼の宴が続いた。

いよいよ、しめくくりの刻がやって来た。私の音頭で、ヴィラ・ド・ビスポ市の発展

とロ市長の御健勝、御活躍、なお両市の益々の友好親善を

心の底から祈念して、万歳三唱。大音声の三唱は海の彼方

のアメリカ大陸へ届けとばかりであった。(三十八歳のロ

市長は、この十二月、ヴィラ・ド・ビスポ市長選挙に立候補されるとの事)。

バスは、台地へよじ登り、はるか北東の方向にヴィラ・

ド・ビスポ市の町並みが眺望できる丘の上で、一行はロ市長を囲み、別れの記念撮影を

くりかえした。

バスが動き始めた。バスの窓という窓は、別れを告げる、

と言うよりも別れを惜しむ手、手、手、でぎっしり。ロ市長の長軀が、一行の眼から

消えるまで手は振り続けられた。一人ひとりが、心なしか眼がうるんでいた。

こんどは、もときた国道を、北へ北へと急いだ。

十九時二十分、リスボン市着、フロリダホテル泊。

五月二十九日(土)、九時二十五分ホテル発。十三時十五分、ドゴール空港着。明日(日)は休館ということで、十四時三十分からルーブル博物館見

学。セーヌ川右岸にあり、フランスの旧王宮。エジプト、ギリシャ・ローマ、古代西ア

ジア、絵画、彫刻、工芸の六部門にわたる大蒐集品のほんの一部分のみを観たが、

「すごいなあ」の一語に尽きる。見学者で通行が出来ないほどの館内である。

その夜は、フォートレスホテル泊。久しぶりに、日高部先生御夫妻を囲み夕食会を催す。ホテル姉妹のレストランを紹介される。特別室で、パ

リの夕べを心ゆくまで楽しみ、ホテルに帰る。日本を離れて六日目、ようやくツアーのなかには、兄弟姉妹のような自然な親しみがわいてくるようになった。

(橋原)